

「おひさまきらきら えがおいっぱいなんざんようちえん」

南山幼稚園だより

1月号

平成28年1月8日

港区立南山幼稚園

子供に心を向ける

新年明けましておめでとうございます。

元日は、澄み切った青空が美しく、心まで洗われるような清々しい一日でした。皆様におかれましては、穏やかに新しい年をお迎えのことと思います。

朝、幼稚園に行くと、子供たちは私の姿を見つけて、「えんちょうせんせ〜い」と手を振って呼んでくれます。その声に誘われて保育室を訪ねると、愛らしい笑顔で迎えてくれます。私も、思わず微笑んでしまいます。

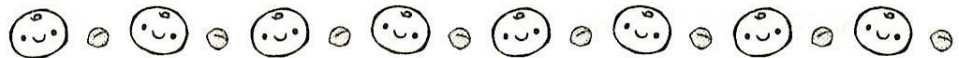
3歳児の保育室では、子供たちは、自分の話を聞いてほしくて、私の周りに寄ってきました。「あのね。・・・」「わたしね。・・・」と夢中に話す子供たちの表情に惹かれて話を聞いていると、一人の男の子が、私の背中をチョンと小さな手で押しました。私は背中に手を回し、その男の子をギュッと捕まえました。男の子は、自分のことが見えないはずの園長先生に捕まれて、面白くて、声をあげて笑いました。その声に誘われて、別の男の子も、私の背中に回りました。私が、二人をいっぺんに捕まえると、子供たちは大はしゃぎ。ぼくも、わたしも、次から次へとやって来て、捕まらたがりました。子供たちは、同じことを何度も何度も繰り返しました。私も、何度も何度も捕まえました。

子供たちは、自分を構ってくれていることが嬉しかったのでしょうか。自分に心に向けてくれていることが嬉しくてたまらなかったのでしょうか。捕まることを、そして捕まえることを心から一緒に楽しんだ一時でした。

—おひさまきらきら 笑顔いっぱいの南山幼稚園— 今年も子供たちの健やかな成長を願い、教職員一同、心をつにして精一杯努めてまいります。今年も変わらず、皆様の温かい御支援と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

園長 和田 京子

1月のねらい



◎3歳児 りんご組

○友達と関わりながら、自分のやりたいことを試したり、繰り返したりして遊ぶことを楽しむ。

自分なりに場を作ったり、好きな遊具を選んだりしながら、やりたいことを存分に楽しめるような援助をしていきます。友達の近くで同じことをして楽しんだり、関わって遊んだりする姿も受け止め、それぞれが楽しんで遊べるようにしていきます。

また、いろいろな正月遊びにも親しみ、繰り返し遊べるようにしていきます。

○学級の活動で、いろいろな表現遊びを楽しむ。

学級で一緒に過ごすことが心地よいと感じる温かい雰囲気の中で、教師と一緒に表現遊びを楽しんでいきます。話の中でいろいろな動きや言葉を表すことを経験できるようにします。

○冬の生活で必要なことや身の回りのことを自分でやろうとする。

上着を自分で脱着することや、下着をズボンに入れるなど、冬の生活で必要なことや、うがい手洗いが自分で行えるよう、声をかけたり援助したりしていきます。

◎4歳児 ばら組

- 友達に自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら遊ぶことを楽しむ。
好きな遊びの中で、いろいろなイメージや考えを友達と出し合い、部分的に取り入れながら遊びを楽しんでいけるようにします。また、正月遊びを行い、友達とルールや遊び方の確認をしたり、教え合ったりしながら楽しんでいきます。
- 学級で行う劇遊びで、話に沿って自分なりに表現したり、友達と一緒に動いたりすることを楽しむ。
親しんでいる絵本から、繰り返しストーリーを楽しみながら劇遊びをしていきます。話の展開が分かり、役になって自分なりに表現していくことを楽しんでいきます。
- 友達と行う当番活動や冬の生活に必要なことを思い出し、自分でやろうとする。
弁當時の準備やあいさつ、風邪を予防するために必要なこと、衣服の調節や防寒具の始末など自分から気が付き、進んで取り組めるように声をかけたり、一緒に行ったりしていきます。

◎5歳児 さくら組

- 友達と遊ぶ中で、自分のめあてに向かって力を出したり、互いに挑戦し合ったりする楽しさを味わう。
遊びの中で、友達と一緒にコマや短縄、ドッチボールなどをする中で、友達同士で教え合い、めあてに向かって力を出していけるようにします。また、互いに教え合う姿、競い合う姿を認め、それぞれのよさを改めて見つけられるようにしていきます。
- 物語やイメージに合った表現を考え、友達と共通理解しながら学級の劇を作り上げていく楽しさを味わう。
子供会に向け、学級の友達と考えを出し合いながら物語のイメージを膨らませていきます。そして、その物語を劇として作り上げるために、言葉、動き、小道具、音楽などについて、学級やグループの友達と考えを出し合っていきます。共通の目的に向かって作り上げていく過程を楽しみ、学級のみんなで達成感を味わえるようにします。
- 生活の中で活動の区切りの時間を意識し、進んで行動していこうとする。
小学校入学に向け、子供たちも期待が高まる時期になりました。その気持ちを大切にしながら、生活の流れを見通し、登園時間や片付けの時間、集まる時間など、自分で意識して動いていけるように援助します。

南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて

「最後までしっかり聞こう」

